

# 西濱海Party



台南の旅行サイト

台南の旅行アプリ

LINE

24時間の旅行情報オンラインサービス

tripadvisor

台南の旅行口コミサイト

台南の旅行レビュー

台南のホテル検索サイト

バスの運行状況検索

## 海日和 青々とした海を見ながら 海辺散策

足元に波しぶきを感じながら両腕を広げ、南台湾の穏やかな海を受け止めてください。広々とした砂州と青い海は、遙か彼方まで見渡すことができるでしょう。風光明媚な台南西部の海岸を訪れば、視界には天高く羽ばたく渡り鳥、水晶のようにキラキラ輝く天日干しの塩、そして、金色に輝く夕日が。300年前、鄭成功が唐山から軍を率いてこの海を渡り、ここ台湾に辿り着きました。鄙びた漁港の集落には、古の物語が刻まれています。自然の景観とこの地に伝わる物語との対話が紡ぎ出す暖かくてレトロな雰囲気や、海風を通して感じてください。

### おすすめルート

国立台湾歴史博物館 約13km/車で約30分 → 四草緑のトンネル

約7km/車で16分 → 鹿耳門媽祖廟 / 正統鹿耳門聖母廟

約16km/車で約23分 → 台湾塩博物館 / 約9km/車で約16分 → 七股塩山

七股潟湖 / 六孔管理センター 約6km/車で約9分 →

クロツラヘラサギ展示館 / クロツラヘラサギ観察スポット 約4km/車で約6分 →

国聖灯台 約23km/車で約40分 → 將軍漁港 / 馬沙溝海浜公園

約6km/車で約10分 → 東隆宮 / 王爺信仰文物館

約4km/車で約7分 → 井仔脚瓦盤塩田 約3km/車で約6分 →

北門旅客サービスセンター / 烏脚病医療記念館 約3km/車で約7分 →

南鯤鯓代天府 約5km/車で約8分 → 双春海浜公園(愛莊園)

## 国立台湾歴史博物館

20ヘクタールの広大な史博園區にある国立台湾歴史博物館は、台湾の歴史をテーマにしている点でも、また、台湾人によって造られた点でも、台湾史上初めての博物館です。1階と2階の展示コーナーでは、唐山から台湾に至って始まった台湾の開拓時代、日本統治時代、白色テロ時代、高度経済成長期と、台湾の歴史を辿ることができる展示になっており、それぞれ写真や蠟人形や映像による解説がなされています。博物館内には、日本統治時代のお店や、戦後の教室の様子などが再現されており、それをバックに撮影すれば、まるでその時代にタイムスリップしたかのように感じられるでしょう。

- 台南駅より電車あるいはバスで永康駅へ向かい、永康駅で大台南公車20路(大台南バス20路のバス)に乗車、バス停「台湾歴史博物館」で下車。
- 台南市安南区長和路一段205号
- 06-356-8889
- 09:00~17:00、月曜休館
- 一般券100元、半額券50元(子供、学生など)



## 四草緑のトンネル

四草大塚廟というお寺の裏手にある水路は、マングローブの一種、ヒルギモドキの台湾最大の群生地、台南市で最も優れたマングローブ観察区になっています。ここには3種類のマングローブがあり、最も多いのはヒルギダマシです。次いで多いのは塩分に強いヒルギモドキ、ヤエヤマヒルギは数株しかありません。大塚廟の裏手にある土手の上から見ると、四草のマングローブの森全体を見渡すことができます。マングローブの森を上から見ると、木々の間を行き来する様々な鳥たちや、約6種類の招潮蟹(シオマネキ)や彈塗魚(ムソゴロウ)が観察でき、観光ボートに乗ってマングローブのトンネルを進めば、経路したことのないほどの大自然を肌で感じられるでしょう。

- 台南駅より「台湾好行」大台南公車99台江線(「台湾好行」大台南バス99台江線)に乗車、バス停「四草生態文化園区(大塚廟)」で下車。
- 台南市安南区大塚路360号
- 06-284-1610
- 入園料：200元



## 鹿耳門天后宮 / 正統鹿耳門聖母廟

正統鹿耳門聖母廟/鹿耳門天后宮は、航海、漁業の神である媽祖をお祀りした廟です。古くから、台江(地名)の内海は、中国大陸との主要な貿易港でした。海運が盛んだった頃、台江の地の鎮守神として、媽祖を祀った鹿耳門天后宮が創建され、以降、この地の人々の信仰を集めてきました。台湾海峡を越えて台湾に渡り、この地を開墾した先人の霊を慰める人々や、一家の安全を祈る海民のお参りに訪れるこの廟では、緑色の煙が絶えることはありません。

- バス停「四草生態文化園区(大塚廟)」より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)に乗車、バス停「鹿耳門天后宮」または「鹿耳門聖母廟」で下車。

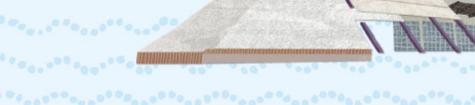
- 鹿耳門天后宮
- 台南市安南区媽祖宮一街136号
- 06-284-1386
- 正統鹿耳門聖母廟
- 台南市安南区城安路160号
- 06-257-7547

## 台湾塩博物館 / 七股塩山

七股塩塚は古くから天日干し塩の産地でしたが、技術革新と後継者不足により、伝統的な塩田は姿を消しました。しかし、伝統的な製塩業の文化と歴史を保存するため、かつて製塩業で栄えたこの地の塩田の中に、台湾で初めて、塩をテーマにした博物館が誕生しました。ピラミッド型の建物は、塩の結晶を模しており、七股塩山と対峙しています。博物館は3階建てで、台湾の製塩業の歴史が展示されています。博物館を見学した後は、近くの塩山を訪れてみてください。建物の6階に相当する高さの塩山は、登る楽しさも高くなるが、頂上からの眺めも最高です。

- バス停「六孔管理站」より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)に乗車、バス停「台湾鹽博物館」で下車。

- 台湾塩博物館
- 台南市七股区塩塚里69号
- 06-780-0698
- 会館時間:平日、土日祝日09:00~17:00
- 入館料：130元
- 七股塩山
- 台南市七股区塩塚里66号
- 06-780-0511
- 夏季09:00~18:00、冬季08:30~17:30
- 小型乗用車でのご来場の場合、清掃費の名目で入館料他に100元お支払いいただきます。



## 馬沙溝海浜公園(改修工事に伴う休館について)

台南西部の沿岸部に位置する馬沙溝海浜公園は、細かい砂の砂浜と金色に輝く夕日が美しい海浜公園です。毎年夏に開催される「一見双鷗」アートフェスティバルでは、多くのアーティストによって作成された、躍動感のある彫像が並びます。近くの七股塩山にも塩で作られた像があり、塩と砂によるアート作品は、このエリアを訪れる人々の目を楽しませてくれます。海浜公園は、青い海と空、そして美しい砂浜を楽しむだけでなく、BBQも楽しめます。また、近くの馬沙溝漁村を巡るのもおすすめです。こちらは民家の壁面に描かれた3Dアートが評判となっており、多くの人が訪れる観光スポットになっているのです。3Dアートの前で記念撮影をすれば、きっと忘れられない思い出となるでしょう。

- バス停「井仔脚(井仔脚)站」から大台南公車藍2線(大台南バスブルーラインの藍2線/バス)に乗車、バス停「北門站」で下車。
- 北門区北門里200号
- 06-786-1017
- バス停「台湾鹽博物館」よりバス停「鹽田旅服站」(「鹽田旅遊服務中心=塩田旅客サービスセンター」の略)まで徒歩約5分。そこから大台南公車藍20線(大台南バスブルーラインの藍20線/バス)に乗車、バス停「馬沙溝遊憩区」で下車。
- 台南市將軍区平沙里140号
- 雲嘉南濱海国家風景区管理処:06-798-1000

## 三寮湾東隆宮 / 王爺信仰文物館

三寮湾東隆宮は、この地の王爺信仰を広く知ってもらうために、東隆文化センターを設立しました。東隆文化センターの3階には、王爺信仰文物館があり、王爺信仰の特色や由来などが主として紹介されています。館内には豊富な収蔵品が展示されており、中には王爺信仰に関する重要文獻、書画、木彫などがあります。館内に陳列されている当時の様子を再現した木彫は、どれも生き生きとしており、今にも動き出しそうです。

- 馬沙溝濱海遊憩區(馬沙溝海浜公園)からタクシーで約10分。或いは、バス停「馬沙溝遊憩區」から大台南公車藍20線(大台南バスブルーラインの藍20線/バス)に乗車、バス停「佳里站」で下車、大台南公車藍3線(大台南バスブルーラインの藍3線/バス)に乗り換え、バス停「三寮湾」で下車。
- 北門区三光里三寮湾127-3号
- 06-785-0135
- 入場料：100元

## 井仔脚瓦盤塩田

台湾の塩田開発は、最初に開発された清の嘉慶帝時代の1818年から数えると、200年近い歴史があります。井仔脚瓦盤塩田は、現存する最も古い瓦盤鹽田の遺跡です。塩田の底部には砕けた瓦片が敷き詰められているのですが、これは先人の知恵によるものです。砕いた瓦を敷き詰めると、海水を引き入れて天日に晒すと、瓦片に塩の結晶が付着します。それを採取するという方法で製塩されていた。海岸沿いに広がる塩田は牡蠣で、まるで大きな大きな白い基盤を水平線の彼方まで広げたようです。塩田一面に引かれた海水は、空の色が映って青々とした、柔らかな美しい風景を作り出しています。天日干し塩はコストがかかりますから、次第に工場で人工的に作られる塩に取って代わられてしまいました。井仔脚瓦盤塩田は現在、観光塩田として活用されています。ここでは、天日干し、天秤棒を使った塩運び、木製のレーキを使った塩集めなど、塩づくりの工程を体験することができます。

- 三寮湾東隆宮よりタクシーで約7分。或いは、バス停「三寮湾站」より大台南公車藍3線(大台南バスブルーラインの藍3線/バス)に乗車、バス停「鹽底寮寮站」で下車、大台南公車藍2線(大台南バスブルーラインの藍2線/バス)に乗り換え、バス停「井仔脚(井仔脚)站」で下車。
- 台南市北門区永華里64号
- 06-786-1629 皇尚企業
- 08:00~18:00

## 六孔管理棟、六孔旅客サービスセンター

七股区内にある六孔旅客サービスセンターは、6つの排水口があることからこの名がつけられました。管理棟内の展示館には、台江国家公園内の「歴史」、「自然」、「産業」をわかりやすく解説しているマルチメディアインタラクティブエリア、模型展示エリアがあります。

- バス停「黒面琵鷺賞鳥亭」より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)に乗車、バス停「六孔管理站」で下車。
- 七股区三股里海埔18号
- 06-788-0220
- 09:00~16:30、月曜休館

## 七股潟

七股潟は南北約6.6キロ、面積はおよそ1600ヘクタールで、台湾で最大の潟です。3つの砂州と2つの河口、更にはマングローブの森を含み、125種の魚類、73種の貝類が生息しています。クロツラヘラサギ等の鳥類の越冬地でもあり、豊富な動植物の生態を観察することができる台江国家公園の一部となっています。潟の周辺では、古くから魚の養殖が行われており、台湾を代表する魚である虱目魚(ミルクフィッシュ)や吳郭魚(ウシエビ(ブラックイガー)や牡蠣なども養殖されています。船で七股潟を巡るのもおすすめです。南湾、六孔、海寮埤、龍山漁港等の船家(観光船乗り場)から観光船が出ていますので、そちらをご利用ください。さまざまなコースをご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

- バス停「黒面琵鷺賞鳥亭」より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)に乗車、バス停「六孔管理站」で下車。
- 台南市七股区

## クロツラヘラサギ観察スポット / クロツラヘラサギ観察館

クロツラヘラサギ観察スポットは、曾文溪といわゆる河口付近の湿地帯にあります。大変珍しいクロツラヘラサギの他にも、裏海燕鷗(オニアシシ)、高蹺鴨(セイタカシギ)、白鷺鷥(ロサキ)等の渡り鳥、更には、招潮蟹(シオマネキ)も常時観察できます。マングローブに覆われた河口付近の動植物は、国際的に見ても大変貴重なものです。展示館内では、曾文溪の河口付近の生態、例えば、マングローブ、招潮蟹(シオマネキ)、水鳥等が紹介されており、クロツラヘラサギの紹介VTRが放映されているコーナーもあります。

- 台南駅より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)、バス停「黒面琵鷺賞鳥亭」または「黒面琵鷺展示館」で下車
- 黒面琵鷺賞鳥亭
- 台南市七股区十份里海埔09号
- 06-391-0000
- 黒面琵鷺展示館
- 台南市七股区十份里海埔47号
- 06-788-1180
- 09:00~16:30、月曜休館

## 北門旅客サービスセンター

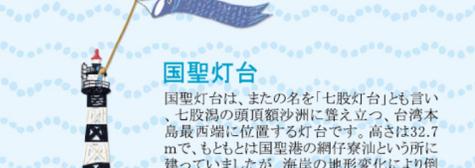
旧北門精製工場内の西南側の倉庫群はリノベーションされましたが、外観はかつての工場の三角屋根が残されています。館内は、テーマ別にマルチメディアインタラクティブを多用した展示になっています。また、周辺には様々な形のカラフルなオブジェが点在し、美しい夕陽の水晶教会と相まって、ロマンティックな景観を織り成しています。

- バス停「井仔脚(井仔脚)站」から大台南公車藍2線(大台南バスブルーラインの藍2線/バス)に乗車、バス停「北門站」で下車。
- 北門区北門里200号
- 06-786-1017

## 台湾烏脚病医療記念館

台湾烏脚病医療記念館は、台湾で唯一の疾病及び医療の記録と台湾精神を主体とした記念館です。1957年当時、南台湾の学甲、北門、嘉義県の布袋、義竹等の地域に烏脚病が蔓延していました。そこで、キリスト教マスタード・シード会と王金河医師は、「憐憫之門」という診療所を開設し、無償で診療を行いました。この記念館はその跡地に建てられています。

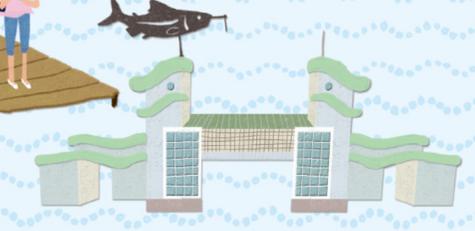
- バス停「井仔脚(井仔脚)站」から大台南公車藍2線(大台南バスブルーラインの藍2線/バス)に乗車、バス停「北門站」で下車。
- 北門区永隆里27号
- 06-786-2012



## 国聖灯台

国聖灯台は、またの名を「七股灯台」とも言い、七股潟の頭頂類沙洲に聳え立つ、台湾本島最西端に位置する灯台です。高さは32.7mで、もともとは国聖港の網仔寮山という所に建っていましたが、海洋の地形変化により倒れ、1970年に台湾本島最西端の地に再建されました。鉄骨を組み上げた鉄塔で、どこまでも平らかな砂浜に面し、独特の景観を形成しています。日没時には、金色に輝く砂浜と灯台が織り成す幻想的な風景を見ることが出来ます。

- バス停「鹿耳門天后宮」または「鹿耳門聖母廟」より「台湾好行」99台江線(「台湾好行」バス99台江線)に乗車、バス停「黒面琵鷺賞鳥亭」で下車、そこから徒歩50分。或いは、天后宮から車で約30分
- 台南市七股区北堤壇坊



## 將軍漁港

將軍漁港は古くから、台湾西部の重要な漁港でした。毎日午後になると漁船が入港し、活きのいい新鮮な魚介類が水揚げされます。水揚げされた魚介類は、仕分された後すぐに観りにかけられます。観り人と仲買人の交渉のいいやり取りが見られ、活気にあふれている魚市場は、一般の人々の見学も可能です。漁港には魚をモチーフにしたオブジェもあり、休日には多くの人が訪れます。シーフードレストランで満ちた人、或いは、カフェで美しい夕日を眺めながらコーヒーを味わう人、縁々です。お腹を満たし、喉も潤した後は、近くの馬沙溝漁村を巡るのもおすすめです。これは観光促進のため、民家の壁面に3Dアートが描かれています。こちらへ是非訪れてみてください。きっと忘れられない思い出となるでしょう。

- バス停「台湾鹽博物館」よりバス停「鹽田旅服站」(「鹽田旅遊服務中心=塩田旅客サービスセンター」の略)まで徒歩約5分。そこから大台南公車藍20線(大台南バスブルーラインの藍20線/バス)に乗車、バス停「將軍漁港」で下車。
- 台南市將軍区平沙里156号
- 06-793-0460

## 南鯤鯓代天府(ミシュラン三ツ星観光地)

南鯤鯓代天府は、『ミシュラングリーンガイド台湾』において、三ツ星を獲得しました。「台湾第一」、「王爺總廟」などの称号に加えて、新たに獲得した栄誉です。廟内には、「李府千歳」、「池府千歳」、「吳府千歳」、「朱府千歳」、「范府千歳」などの五体の神様が祀られており、ごちらの願から各地に広げられました。分靈廟の数は、台湾一と言われています。聖殿内に入ると、黄金に輝く玉皇大帝の玉指が目に入り、思わず足を止めて感嘆の声が上がってしまうほどです。毎年、王爺のお祭りの時期になると、各地から多くの人々が線香を手向けに集まります。また、広場前には、各廟の陣頭(廟の氏子達が神様と共に街を練り歩くと、先頭を務める人)と乱黨(依り代となる人、戸(より)重(まじ))も大勢集まります。その規模は大変大きく、台湾最大のお祭りといわれています。

- バス停「北門站」から大台南公車藍2線(大台南バスブルーラインの藍2線/バス)に乗車、バス停「南鯤鯓」で下車。
- 台南市北門区藍江里976号
- 06-786-3711



## 双春海浜公園(愛莊園)

双春海浜公園のヴェナーヘイム愛莊園は、生物の生態とロマンティックな海岸線の風景がともに楽しめるレジャーエリアです。鬱蒼と生い茂ったマングローブの森の中を、吹き渡る海風とともに飛び跳ねる彈塗魚(ムソゴロウ)や鳥たち。ここでは、こうした様々な生き物の生態を観察でき、まるで天然の生態観察教室のような。エリア内にある様々なデザインの案内板や、DIY活動によって、生き物の生態を楽しく学ぶことができます。木屑黄(トクサバクマオウ)が形作る緑のトンネルの中をのんびり歩けば、梢を揺らす風を心地よく感じることができます。振り返れば大海原が広がります。ロマンティックなオブジェが織り成す景観は、結婚記念のアルバムの撮影スポットとして新婚カップルに大人気です。

- バス停「南鯤鯓」より大台南公車藍1線(大台南バスブルーラインの藍1線/バス)の「雙春行き」に乗車、終点で下車した後、徒歩約20分
- 台南市北門区雙春73之11号
- 06-786-5355
- 06:00~18:00
- 入園料：平日100元、休日150元

## 必ず食べたい! 海辺のグルメBest8

海辺でおいしい海の幸を! 台南沿岸は、ワタリガニに似た螃蟹、魚、蝦、牡蠣などの新鮮な海の幸がたくさん採れます。台南を訪れたら、是非活きのよい魚介類を使った海鮮料理を堪能してください!

### 焼き牡蠣

七股沿岸は牡蠣の養殖で有名です。海のエキスをたっぷり吸収した新鮮な牡蠣は、炭火焼にすると最高です。遊覧船で台湾を巡り、焼き牡蠣を味わえば、目も舌も一度に満足できるでしょう。

### ミルクフィッシュ

台江の内海一帯では、虱目魚(ミルクフィッシュ)が養殖されています。虱目魚の身は甘味があつて柔らかいので、身だけだけでなく皮もまた、様々な調理され、食べられています。地元のお店では、看板メニューの虱目魚のはら身の部分以外にも、虱目魚スープ、虱目魚ソーセージ、虱目魚の腸(焼いてタレを付けて食べる)など、産地ならではの裏メニューがあります。

### 牡蠣と蕪のかき揚げ

蛸燻は、台湾の西海岸を代表する料理の一つです。水で溶いた小麦粉の中に、その日水揚げされたばかりの新鮮な牡蠣、ネギ、蕪、卵を入れて混ぜ、油で揚げたものです。外はカリカリ、中はジューシーで、一口食べれば、口の中いっぱい牡蠣と野菜のうま味が広がります。

### 海鮮お粥

産地直送の虱目魚(ミルクフィッシュ)、むき海老、蛤などを、米と一緒にじっくり煮込んだ海鮮お粥。磯の香りが食欲をそそる一品です。柔らかく煮込んだお粥の上に、具の海鮮をたっぷり載せられるのは、産地ならではのです。台南名物の蝦蟇(蝦の3リ身の春巻き)や蚵酥(牡蠣のから揚げ)などと一緒に召し上がってみてください。

### カニのお粥

海鮮お粥よりワンランク上のお粥。それが螃蟹(ワタリガニに似たカニ)のお粥です。新鮮な螃蟹と豚肉とともに煮込まれたお粥は、口に運ぶ度にカニの身の甘さと香りが立ち、着がとまらなくなる一品です。

### 新鮮な牡蠣入り麺

鮮魷麵線(新鮮な牡蠣入り麺)は、手作りの細麺に、牡蠣のうま味が溶け込んだあっさりスープがマッチした一品です。

### 西瓜綿湯(スイカの塩漬のスープ)

学甲はスイカの名産地です。砂丘に広がるスイカ畑には、まるでまたと育ったスイカがずらりと並んだ光景が見られます。地元では、間引いたスイカの皮を剥いて塩漬にし、発酵させ、虱目魚(ミルクフィッシュ)等の魚介と一緒に煮込んでスープにします。あつさりした味ながら、発酵したスイカ漬の香りと酸味が感じられる、おいしい一品です。

### 烏魚子

毎年冬になると、台湾近海にはボラがやってきます。この時期、雲林、嘉義、台南の沿岸では、カラスミを太陽に晒す光景があららちで見られます。将軍や安平一帯で作られたカラスミは、脂がのってわっとりとしていて、フライパンで軽く焼いて食べても、直火で軽く炙って炙りに乗せたりもおすすめです。また、細かく切ってチャーハンに入れてもおいしく召し上がれます。